

インクジェットプリンタ
UJF-3042MkII/6042MkII, UJF-3042MkII e/6042MkII e

お手入れのお願い

本機は非常に微細なメカニズムを持つ精密機械です。特にインクを吐出するヘッドのノズル面は、わずかなホコリや紙粉の付着でも影響を及ぼし、正常なプリント結果を得られなくなる可能性があります。より良い状態でご使用いただくために、以下のお手入れを日常行われることをお勧めします。

1. お手入れを行うタイミング

使用頻度が高い場合は短期間のお手入れをお願いします。

お手入れを行うタイミング	お手入れ項目	参照ページ
毎日 (1日1回から1日3回程度) * 使用状況により異なります	ヘッドノズル面清掃 (メンテナンス液 11 を使用する清掃)	P.6
毎日 (1日の作業終了後)	外装	P.7
	ヘッド周辺	P.7
	キャッピングステーション	P.8
	ミストフィルター 1	P.9
1週間に2回 (月曜日と金曜日)	ノズル洗浄 (PR-200 インク使用時)	P.10
1週間に1回 (週末の作業終了後)	LED ランプ底面とミストフィルター底面	P.12
	廃インクタンク	P.12
	ワイパーチューブ	P.13
	ミストフィルター 2	P.13
	インク排出路	P.14
1ヶ月に1回程度	不凍液の点検と補充	P.14

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。

お手入れに必要な道具	備考
▪ メンテナンス液 11 (ML011-Z-K2 / ML011-Z-B2)	ヘッドノズル面清掃 (メンテナンス液 11 を使用する清掃) 実施時
▪ PR-200 メンテナンス液 (ML013-Z-K2 / ML013-Z-B2)	PR-200 メンテナンス液使用時 (メンテナンス液 13)
▪ F-200/LF-200 メンテナンス液 (SPC-0568)	メンテナンス洗浄液 15(ML015-Z-K2 / ML015-Z-B1) を代替使用可能
▪ メンテナンス液 15(ML015-Z-K2 / ML015-Z-B1)	
▪ クリーンスティック (SPC-0527)	ヘッドノズル面清掃 (メンテナンス液 11 を使用する清掃) 実施時
▪ UJ 清掃棒	
▪ 綿棒	
▪ 手袋	
▪ 柔らかい布	
▪ ポリスボイト (161-22-25-02)	吸引ワイパー使用時

その他の消耗品は、弊社ウェブサイトにてご覧になれます。
<https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html>



本機は紫外線硬化インク (UV インク) を使用するプリンターです。
お手入れの際は必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。

2. 安全上のご注意

ご注意



本機は紫外線硬化インク (UV インク) を使用するプリンターです。お手入れの際は必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。



本機はインクの吐出安定性を確保するために、長時間使用 (出力) しないときは、充填するインク種によって定期的に微量のインクを吐出 (フラッシング) させる必要があります。長時間使用しないときは、本機の [保管洗浄] 機能 (取扱説明書 4 章「長期間使用しない場合」) を実行してから、前面の電源ボタンのみを オフ にしてください。右側面の主電源スイッチは オン (| の状態) およびコンセントは挿入した状態にしておいてください。



LED UV 装置の温度が完全に下がってからお手入れを行ってください。火傷をする危険性があります。



本機を絶対に分解しないでください。感電、火災および破損の原因になります。



本機の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電、火災および破損の原因になります。



お手入れは、電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因になります。



ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質、変形するおそれがあります。



本機の内部に潤滑油などを注油しないでください。故障するおそれがあります。



紫外線硬化インク (UV インク) は、水やアルコールと混ざると凝集物が発生します。ノズル面はもちろん、ヘッド周辺やキャップ、ワイパーなどへは、水またはアルコールを付着させないように注意してください。

3. 設置環境

- できるだけホコリの少ない環境で使用してください。扇風機、送風機なども周囲のホコリを舞い上げる原因になります。
- 使用環境は、+20 ~ +30 °C (68°F ~ 86°F)、35 ~ 65% Rh です。これより低温湿 / 高温湿でのご使用は避けてください。

4. 作業環境などに関するご注意

印刷設定やメンテナンスを行う頻度については、印刷を行う作業環境や使用するメディアの条件などが大きく影響します。次の各項目を十分に理解して、本機をお使いください。

作業環境など	考慮すべき点
メディアから繊維が飛び出しているなどの理由で、ヘッドギャップ値を大きく設定している場合	- 飛散ミストが多い状態でUV光がノズルに暴露する場合があります。作図中のリフレッシュレベルを上げて (取扱説明書 3 章「リフレッシュレベルの設定」)、オートクリーニング (取扱説明書 4 章「オートクリーニングの設定」) を設定してください。 - 各種メンテナンスを行う頻度を増やしてください。
ガラスや光沢金属など、UV 光を反射しやすいメディアを使用している場合	
使用率の低いインク (プリントヘッド) がある場合	使用率の低いプリントヘッドは、他のプリントヘッドと比較してインクの吐出が不安定になる傾向があります。作図中のリフレッシュレベルを上げて (取扱説明書 3 章「その他の便利な設定」)、ヘッド使用率を一定以上にしてください。
静電気が帯電しやすいメディアに印刷する場合	オプションのイオナイザーや加湿器を置くなどして、帯電対策を十分に行ってください。静電気によりミストやホコリが印刷エリアやヘッド周辺に集まりやすくなります。長時間の連続した印刷を行う場合は、オートメンテナンスを設定してください。 (取扱説明書 4 章「オートメンテナンスの設定」)
湿度の低い環境で印刷する場合 (冬期など)	
凹凸の多いメディア (立体物) に印刷する場合	できる限りヘッドギャップが一定になるように、吸着エリア内の印刷するメディアをセットしている場所以外にも、不要のメディアなどをセットして隙間を埋めてください。反射光によるヘッドの劣化を長期間放置すると、ヘッド交換を必要とする故障の原因となる場合があります。

5. メディアの保管

メディアは、ホコリがつきにくく直射日光が当たらない場所に保管してください。また湿度も嫌いますので高温多湿な場所での保管は避けてください。

6. インクボトルの保管

次の事項に注意して保管してください。

- 直射日光が当たらず、湿度の高くない場所に保管してください。
- インクボトルを落下させたりぶつけたりしないでください。
- インク IC は、汚したり、静電気放電させたりしないでください。
- インクボトルとインク IC は必ず一緒に保管してください。



インクボトルとインク IC

7. 必要に応じて行うメンテナンス

重要! 最適なメンテナンススケジュールは、プリンターの使用期間を通じたオペレーターの観察に基づいて決定されます。

- 特別な用紙を使用する場合などは、印刷するたびにメンテナンスを行う必要もあります。
- 印刷する画像の種類によって、メンテナンススケジュールは異なります。例えば、印刷を行うときに大量の塗りつぶしがある場合は、頻繁にメンテナンスを行う必要があります。

(1) 11 洗浄液を使ったヘッドノズル面の清掃

ヘッド周りに迷光により固着したインクを除去してください。

重要! • 印字物の形状や素材の影響により、汚れ度合いが異なり、作図結果に悪影響を与える事があります。汚れ度合いに応じてメンテナンス頻度を増やしてください。

(2) キャリッジ下面の清掃

キャリッジ下面に付着したインクの除去を行ってください。

(3) LED UV ユニットの清掃

LED UV に付着したインクや埃などを定期的に除去してください。

重要! • LED UV の清掃時には、ユニット下面の照射部を傷つけないように注意して、丁寧に清掃してください。照射部に一定以上の汚れや遮光物があると、インクの硬化不良によるバンディングが発生する原因になります。
• 汚れがひどい場合には部品交換を行ってください。(LED ガラス)

(4) テーブルに付着したインクの除去

必要に応じて、アルコールをしみこませた布などを使い、テーブルに付着したインクを除去してください。硬化したインクを除去する際に、テーブル面を傷つけないように注意してください。

重要! **溶剤使用時の注意**
• インク付着後長期間放置するとアルコールのみでインクを除去することが困難になる場合があります。特殊な溶剤を使用する際は弊社に問い合わせのうえ使用してください。故障の原因となる場合があります。

(5) テーブル吸着孔のつまり除去

テーブル面の吸着孔にインクが付着し詰まることがあります。必要に応じて吸着孔のインクを除去してください。この際硬化したインクの破片をテーブル面に放置しないように気をつけてください。

8. 毎日行うお手入れ



- ヘッド周辺 / キャッピングステーション / ワイパーを清掃するときは、UJ 清掃棒をお使いください。通常の綿棒をお使いになると、糸くずが残って二次障害を引き起こすことがあります。
- キャッピングステーションにあるインクキャップやワイパーは、必ず毎日メンテナンスを行ってください。汚れたままにした場合、ノズル面に汚れが付着したり、ノズルにゴミや凝固インクをこすりつけ、吐出不良が発生したりするおそれがあります。
- キャリッジ下面がインクやホコリの付着により汚れないように、必ず毎日清掃を行ってください。汚れたままの状態にしておくと、ヘッドクリーニング時のワイプ動作でノズルにゴミや凝固インクをこすりつけてしまうおそれがあります。
- キャリッジ下面を清掃する場合、ヘッドノズル面に傷をつけないように、十分に注意してメンテナンスを行ってください。

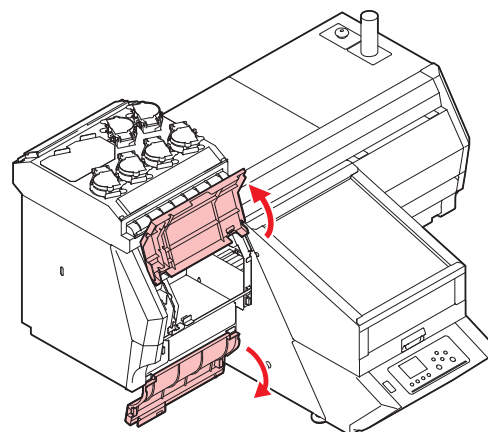
(1) ヘッドノズル面の清掃（取扱説明書 4 章「ヘッドノズル面のメンテナンス液 11 を使用した清掃」）

重要！

- ヘッド周辺は、本機の中で最も汚れがたまりやすく、本機の動作や作図結果に影響を及ぼすおそれのある場所です。また、ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用しておりますので、お手入れには十分な注意が必要です。

1 キャリッジを左へ移動させ、メンテナンスカバーを開く

- 取扱説明書 4 章「ヘッドノズル面清掃」手順 1 ～ 5 を参照して操作してください。



2 クリーンスティックにメンテナンス液 11 を染み込ませる

3 ヘッドの奥側から手前に向けてクリーンスティックで一行ずつヘッドノズル面全体を拭き、付着しているインクを取り除く



- インクカスやごみの付着、スポンジ部分の破れが発生したクリーンスティックでヘッドノズル面を清掃すると、吐出状態が悪化する可能性があるため、クリーンスティックは、適時交換してください。



方向：奥から手前

4 清掃が終了したら、**ENTER** キーを押す

5 メンテナンスカバーを閉じ、**ENTER** キーを押す

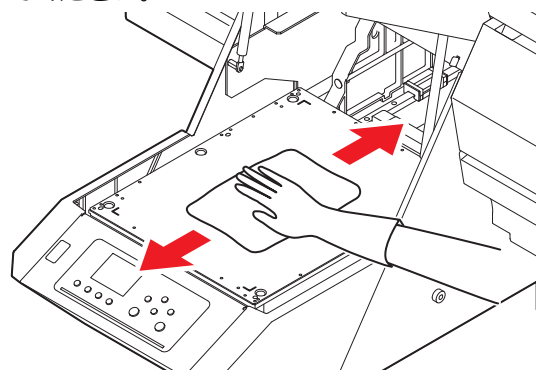
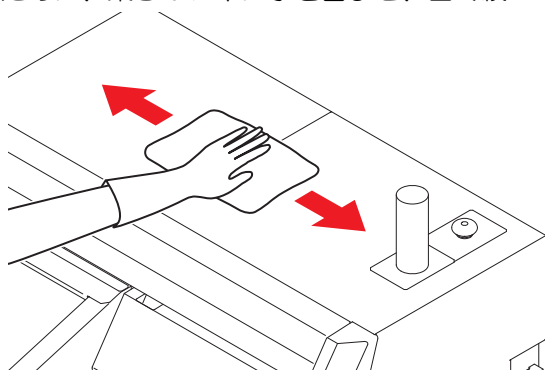
- ・初期動作後、ローカルに戻ります。

6 ヘッドクリーニングを行う

- ・取扱説明書 2 章「ヘッドクリーニング」手順 1 ～ 6 を参照して操作してください。

(2) 外装（取扱説明書 4 章「外装のお手入れ」「テーブルの清掃」）

使用環境により、本体の外装には塵や砂埃が付着することがあります。ヘッド移動部へのホコリの進入を防ぐために、柔らかい布に水を含ませ、固く絞ってから拭き取ってください。



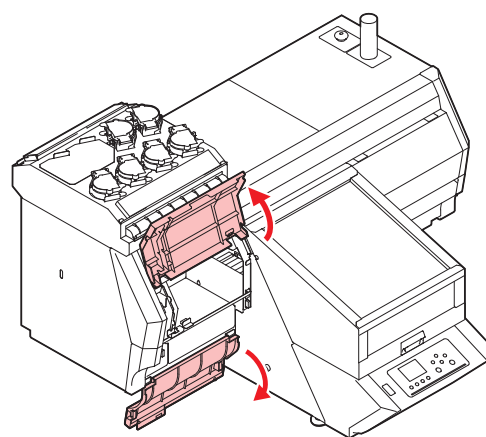
(3) ヘッド周辺（取扱説明書 4 章「ヘッド周辺の清掃」）

重要！

- ・ヘッド周辺は、本機の中で最も汚れがたまりやすく、本機の動作や作図結果に影響を及ぼすおそれのある場所です。また、ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用しておりますので、お手入れには十分な注意が必要です。

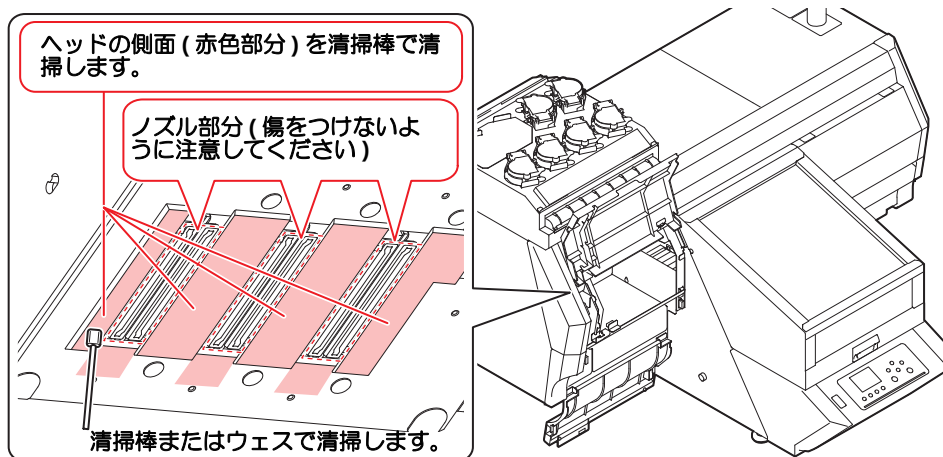
1 キャリッジを左へ移動させ、メンテナンスカバーを開く

- ・取扱説明書 4 章「ヘッド周辺の清掃」手順 1 ～ 5 を参照して操作してください。



2 清掃棒またはウェスにメンテナンス液（F-200/LF-200）を含ませ、ヘッドの側面、スライダ底面にたまったインクを拭き取る

- ・ヘッドノズル面に傷をつけないよう注意してください。



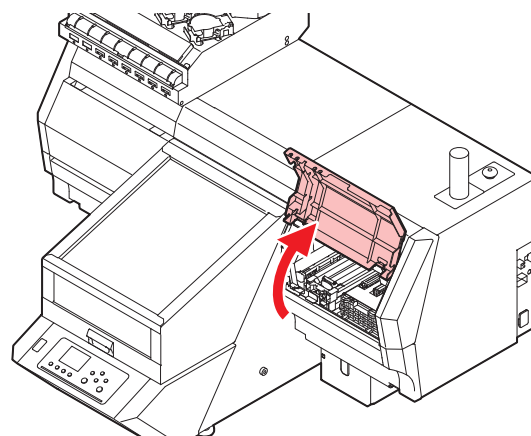
(4) キャッピングステーション (取扱説明書 4 章「ワイパーとキャップの清掃」)

キャップ周辺も、ホコリやインクがたまりやすい場所です。ご使用のインクに適したメンテナンス液 (F-200/LF-200) を使用し、ヘッドに汚れが付着しないよう、こまめな清掃をお勧めします。

- メンテナンス液 (F-200/LF-200)

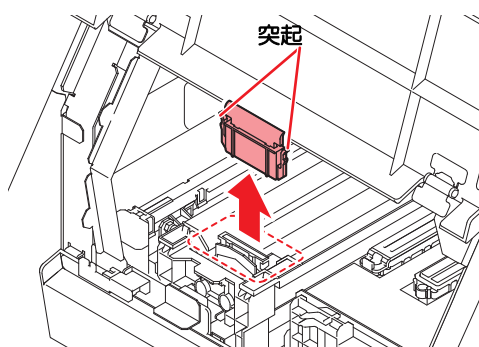
1 キャリッジを移動させ、右側フロントカバーを開く

- 取扱説明書 4 章「ワイパーとキャップの清掃」手順 1~4 を参照して操作してください。

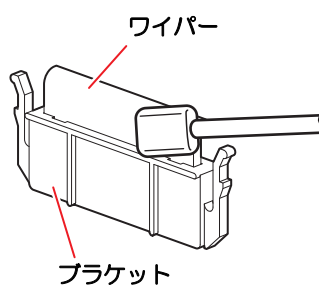


2 (ゴムワイパーを使用する場合) ワイパーを清掃する

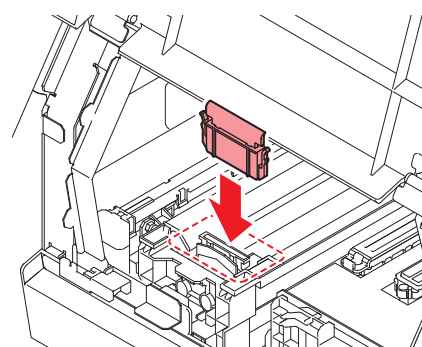
(1) ワイパーを取り出す



(2) ワイパーとブラケットを清掃する



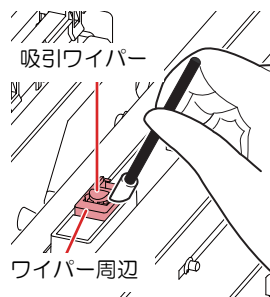
(3) ワイパーを元の位置に戻す



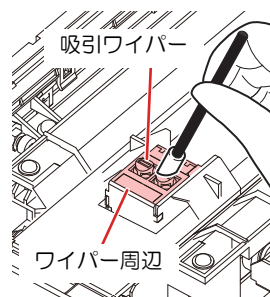
汚れがひどい場合、またはディスプレイにワーニングメッセージ「ワイパ/ 吸収材交換」が表示されたら、取扱説明書 4 章「(ゴムワイパー使用時) ワイパー/ワイパー吸収材を交換する」を参照してワイパー、ワイパー吸収材を確認・交換してください。

3 (吸引ワイパーを使用する場合) ワイパーとワイパー周辺を清掃する

UJF-3042MkII/6042MkII
の場合



UJF-3042MkII e/6042MkII e
の場合

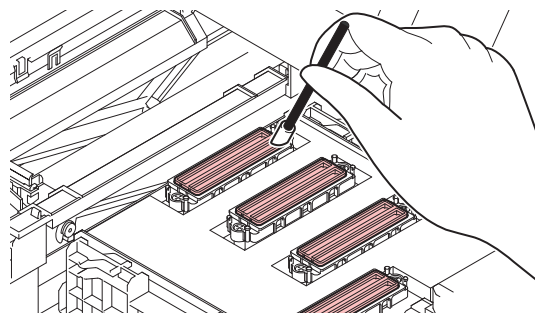


4 キャップを清掃する

- 清掃棒にメンテナンス液を含ませ、拭き取ります。

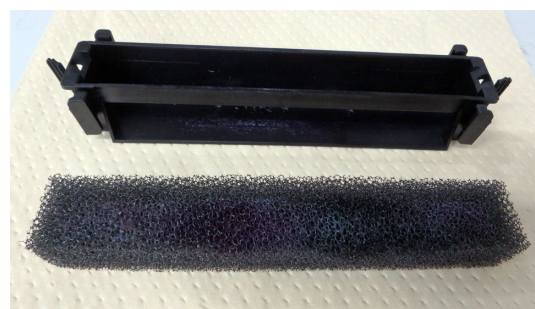
重要!

- メンテナンス液は、残らないように拭き取ってください。



5 ミストフィルター 1 を清掃する (取扱説明書 4 章「ミストフィルターの清掃」)

- 汚れがひどい場合は、取扱説明書 4 章「ミストフィルターの交換」を参照してフィルターを交換してください。



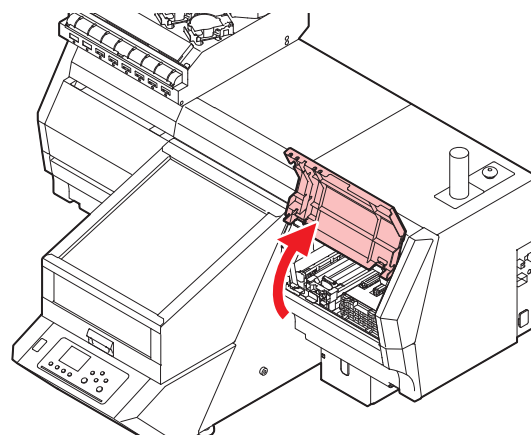
9. 定期的に行うお手入れ（PR-200 搭載機種のみ）

PR-200 を搭載している機種は、ノズル詰まりが発生することがあります。インクの Ver に関わらず 1 週間に 2 回程度を目安にノズル洗浄してください。（使用頻度が高い場合は短期間のお手入れをお願いします。）
ノズル洗浄には、PR-200 専用のメンテナンス液をご使用ください。

ラベル Ver. 表記位置	
220ml カートリッジ	250ml ボトル
	
600ml パック	1L ボトル
	

(1) ノズル（取扱説明書 4 章「ノズル洗浄（PR-200 メンテナンス液使用時）」）

1 ステーション側のメンテナンスカバーを開く



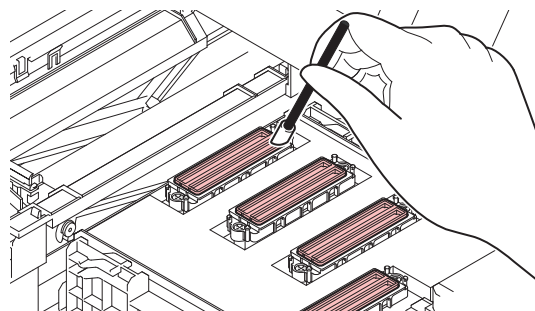
2 ワイパーを清掃する

- クリーンスティックに F-200/LF-200 メンテナンス液を含ませて清掃してください。
- F-200/LF-200 メンテナンス液は、残らないように拭き取ってください。
- 「8. 毎日行うお手入れ（2）キャッピングステーション」手順 2~3 を参照して操作してください。

3 PR-200 搭載ヘッドのキャップゴムを清掃する

重要!

- ・ワイパー、ブラケット、キャップゴムの清掃には必ず F-200/LF-200 メンテナンス液を使い、PR-200 メンテナンス液 (ML013-Z-K2 / ML013-Z-B2) は使用しないようにしてください。

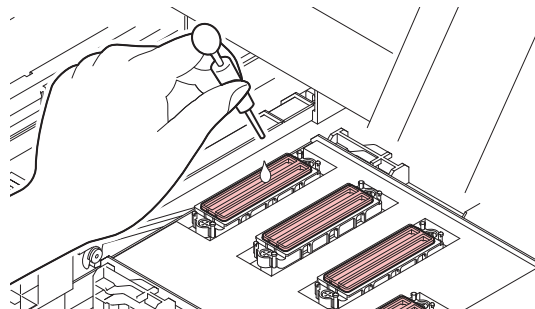


4 PR-200 メンテナンス液 (ML013-Z-K2 / ML013-Z-B2) を、PR-200 搭載ヘッドのキャップにのみ一杯に満たす

- ・PR-200 メンテナンス液をキャップからあふれる寸前まで満たしてください。

重要!

- ・ノズル詰まりの原因となるため、PR-200 搭載ヘッドのキャップ以外に PR-200 メンテナンス液を使用しないでください。



5 メンテナンスカバーを閉め、**ENTER** キーを押す

6 メンテナンス液の放置時間を 1 分に設定し、**ENTER** キーを押す

- ・ノズル洗浄が開始されます。

7 ノズル洗浄後、ヘッドクリーニング (ハード) を PR-200 搭載ヘッドにのみ実施する

8 テストプリントをして、ノズルの状態を確認する

10. 定期的に行うお手入れ（1 週間に 1 回）

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、1 週間に 1 回、定期的にお手入れをしてください。

(1) LED ランプ底面とミストフィルター底面の清掃

1 キャリッジを左へ移動させ、メンテナンスカバーを開く

取扱説明書 4 章「LED ランプ底面とミストフィルター底面の清掃」手順 1 ～ 5 を参照して操作してください。

2 LED ランプ底面とミストフィルター底面を清掃する

●汚れがひどい場合

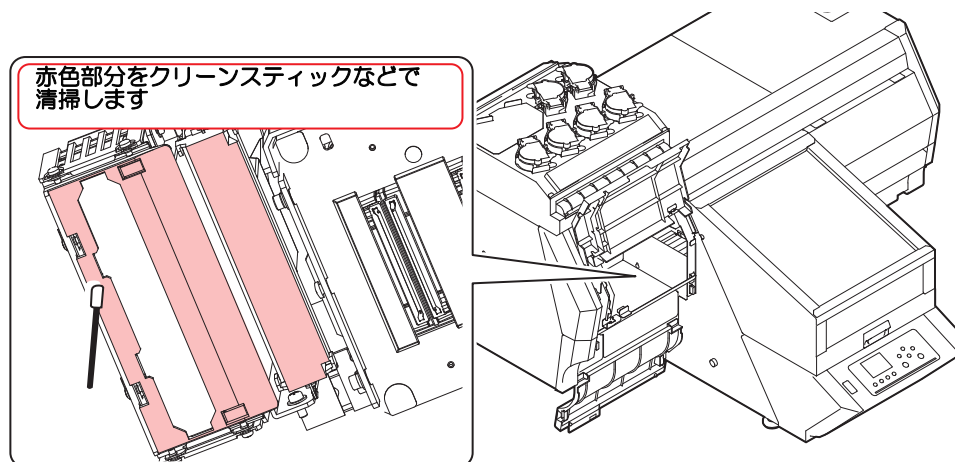
- (1) クリーンスティックにアルコール系の溶液を含ませます。
- (2) LED ランプ底面とミストフィルター底面に付着したインクを、「ポンポン」と叩くイメージで清掃してください。

重要！ ・ 擦る動きはしないでください。低反射処理が剥離する可能性があります。

●埃が付着している場合

- (1) 粘着力の弱いテープ（ドラフティングテープ等）を該当部に置きます。
 - (2) 指で軽く押さえます。
 - (3) テープをはがします。
- ・ 必要に応じて複数回行ってください。

重要！ ・ テープを抑える力は強すぎないように注意してください。低反射処理が剥離する可能性があります。

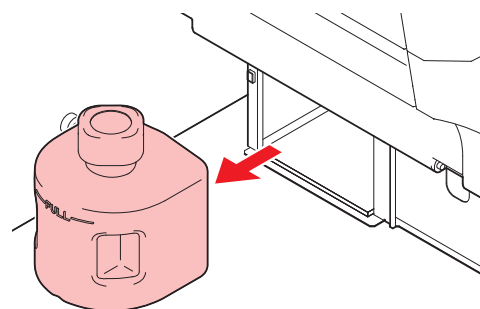


(2) 廃インクタンク（取扱説明書 4 章「廃インクタンク確認メッセージが表示されたら」）

廃インクタンクが満杯になっていないか確認して、廃インクがあふれないように注意してください。

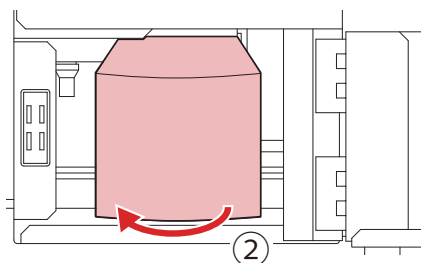
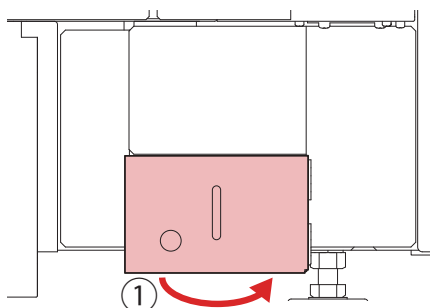
重要！

- ・ 廃インクタンクの液量はこまめにご確認ください。廃インクを廃棄せずに本機を使用し続けると、廃インクタンクから廃インクがあふれ出るおそれがあります。



(3) (吸引ワイパーを使用する場合) 吸引ワイパーの廃インクタンク（取扱説明書 4 章「吸引ワイパーの廃インクタンク確認ワーニングが表示されたら」）※UJF-3042MkII/6042MkII のみ

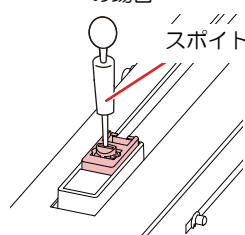
吸引ワイパーの廃インクタンクが満杯になっていないか確認して、吸引ワイパーの廃インクがあふれないように注意してください。



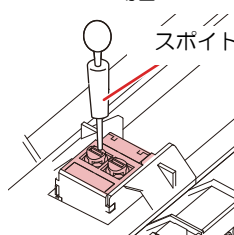
(4) (吸引ワイパーを使用する場合) ワイパーチューブ（取扱説明書 4 章「ワイパーとキャップの清掃」）

- ・ スポイトを使用して、メンテナンス液（F-200/LF-200）を吸引ワイパーの口から流し込んでください。

UJF-3042MkII/6042MkII
の場合

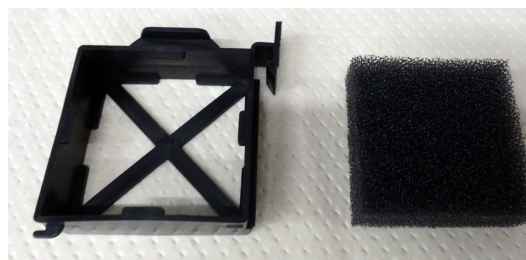


UJF-3042MkII e/6042MkII e
の場合



(5) ミストフィルター2 を清掃する（取扱説明書 4 章「ミストフィルターの清掃」）

- ・ 汚れがひどい場合は、取扱説明書 4 章「ミストフィルターの交換」を参照してフィルターを交換してください。



(6) インク排出路（取扱説明書 4 章「インク排出路の洗浄」）

インク排出路内でのインクの凝固によるインク詰まりを防止するため、定期的に（1 週間に 1 回程度）インク排出路の洗浄（ポンプチューブ洗浄）をしてください。

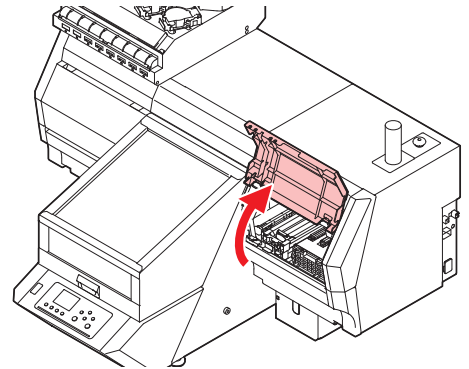
1 “メンテナンス”メニュー→“ステーションメンテ”→“排路洗浄”を選ぶ

- 取扱説明書 4 章「インク排出路の洗浄」手順 1～3 を参照して操作してください。
- キャリッジが移動します。

2 **ENTER** キーを押す

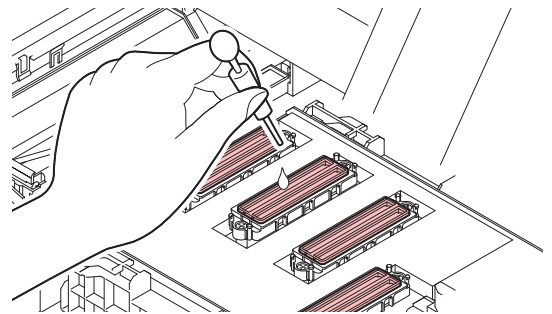
- 空吸引動作を洗浄の作業が終わるまで繰り返し行います。

3 右側フロントカバーを開く



4 メンテナンス液を、キャップ一杯に満たす

- スポイトにメンテナンス液（F-200/LF-200）をとり、キャップ一杯になるまで満たします。



5 **ENTER** キーを押す

11. 定期的に行うお手入れ（1ヶ月に1回）

(1) 不凍液の点検と補充（取扱説明書 4 章「不凍液を補充する」）

本機の状態を良好に保つため、1ヶ月に1回程度不凍液量の点検を行ってください。

不凍液が少ない場合は、不凍液の補充をしてください。

12. 消耗品の交換

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。

消耗品は、弊社ウェブサイトにてご覧になれます。

<https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html>

(1) ワイパー / ワイパー吸収材の交換（取扱説明書 4 章「（ゴムワイパー使用時）ワイパー / ワイパー吸収材を交換する」）

ワイパーおよびワイパー吸収材は消耗品です。

ディスプレイにワーニングメッセージ“ワイパ / 吸収材交換”が表示されたら、ワイパー、ワイパー吸収材を確認・交換してください。

重要！

- ・ワイパー / ワイパー吸収材交換のワーニングが表示された場合、ワイパーフィルム先端部にキズや毛羽立ちなどが無いか確認してください。ワイパーフィルム先端部にキズや毛羽立ちが無い場合は、そのままお使いになれます。またワイパー吸収材にインクがたまっていなければそのままお使いになれます。
- ・クリーニングワイパーは別売品です。お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。

(2) ノズルキャップの交換（取扱説明書 4 章「（吸引ワイパー使用時）ノズルキャップを交換する」）

傷や汚れがひどい場合は、取扱説明書 4 章「ノズルキャップを交換する」を参照してノズルキャップを交換してください。

(3) ミストフィルターの交換（取扱説明書 4 章「ミストフィルターを交換する」）

汚れがひどい場合は、取扱説明書 4 章「ミストフィルターを交換する」を参照してフィルターを交換してください。

(4) ミストフィルターBOX の交換（取扱説明書 4 章「ミストフィルターBOX を交換する」）

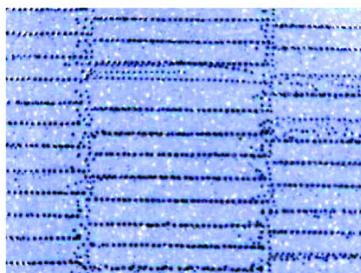
汚れがひどい場合は、取扱説明書 4 章「ミストフィルター BOX を交換する」を参照してミストフィルター BOX を交換してください。

(5) LED ガラスの交換（取扱説明書 4 章「LED ガラスを交換する」）

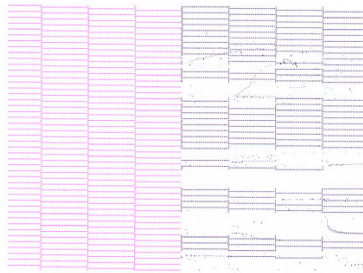
インクが硬化して汚れているとき、低反射材に汚れや剥がれがあるときは、取扱説明書 4 章「LED ガラスを交換する」を参照して新しい LED ガラスに交換してください。

13. 作図不良の例

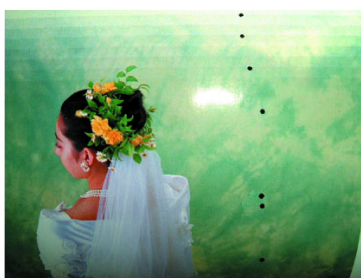
ホコリなどを原因として発生するヘッド (ノズル) の吐出不良が、作図に及ぼす代表的な例を示します。
このような状態で使用しないように、出力前や出力中に定期的にノズルの状態を確認してください。
ノズルの状態は、本機の「テストプリント」で確認できます。(取扱説明書 2 章「テストプリントを行う」)



飛行曲がり



ノズル抜け



ボタ落ち



しぶき

14. ノズル吐出不良の回復方法

本機を長時間使用しなかった場合や環境温度によっては、ノズルの吐出が不安定になる場合があります。この場合、ノズルを回復させるために以下の方法があります。

1. 日ごろのお手入れ

- 本書に記載されている、各所のお手入れを行ってください。

2. ヘッドクリーニング（ノーマル）をする 取扱説明書 2 章

- 1 のお手入れを行った後、取扱説明書の手順に従ってヘッドクリーニングを実施します。

→ テストプリントを行い
確認する
( 取扱説明書 2 章)

ノズル抜けなどが改善しない場合

3. ヘッドクリーニング（ハード）をする 取扱説明書 2 章

- 数回ノーマルクリーニングを繰り返してもノズル抜けがなくならない場合、クリーニングモードをハードに設定して、再度ヘッドクリーニングを実施します。

→ テストプリントを行い
確認する
( 取扱説明書 2 章)

ノズル抜けなどが改善しない場合

4. ヘッドクリーニング（ウルトラ）をする 取扱説明書 2 章

→ テストプリントを行い
確認する
( 取扱説明書 2 章)

ノズル抜けなどが改善しない場合

5. サブタンクメンテナンスをする 取扱説明書 4 章

→ テストプリントを行い
確認する
( 取扱説明書 2 章)

ノズル抜けなどが改善しない場合

6. ノズル洗浄をする 取扱説明書 4 章

→ テストプリントを行い
確認する
( 取扱説明書 2 章)

ノズル抜けなどが改善しない場合

7. (ゴムワイパーを使用する場合) ワイパーを交換する 取扱説明書 4 章

→ テストプリントを行い
確認する
( 取扱説明書 2 章)

ノズル抜けなどが改善しない場合

8. ノズルリカバリー機能を設定する 取扱説明書 4 章

- ノズルリカバリー機能を設定してください。

→ テストプリントを行い
確認する
( 取扱説明書 2 章)

多量ホワイトノズル抜けが復旧しない場合

9. ホワイトメンテナンスをする 取扱説明書 4 章

→ テストプリントを行い
確認する
( 取扱説明書 2 章)

以上の操作をしてもノズル抜けが回復しない場合には、
弊社または本機をお買い上げいただいた販売店にサービスコールをしてください。

11	 メンテナンス液11 (ML011-Z-K2/ML011-Z-B2) ヘッドノズル面用 - ヘッドノズル面の清掃 適用可能インク種: LH-100 LUS-120 ELH-100 ELS-120	
13	 PR-200 メンテナンス液 (ML013-Z-K2/ML013-Z-B2) PR-200 ヘッドのノズル洗浄用 - PR-200 ヘッドのノズル洗浄時に使用 適用可能インク種: PR-200	
15	 メンテナンス液 15 (ML015-Z-K2/ML015-Z-B1) 日常メンテナンス用 - ワイパー清掃 - キャップ清掃 - ヘッド周辺の清掃 - PR-200 ヘッド以外のノズル洗浄時に使用 適用可能インク種: LH-100 LUS-120 LUS-150 PR-200 ELH-100 ELS-120	
16	 メンテナンス液 16 (ML016-Z-K2/ML016-Z-B2) 強力ノズル洗浄用 - ノズル抜け/飛行曲がり発生時のノズル洗浄時に使用 使用時は注意 (詳細は裏面を確認してください) 適用可能インク種: LH-100 LUS-120 LUS-150 PR-200 ELH-100 ELS-120	
詳細はこちらから →		 メンテナンス液の 選び方

メンテナンス項目			
項目	頻度	メモ	動画
印刷作業前			
テストプリント		ヘッドギャップ 1.5 mm でテストプリントを確認	
ホワイトインクボトルの攪拌 (ホワイトインク搭載時)	毎日	メンテナンスクロスでキャップを抑え20回以上 ゆっくりと振る	 ヘッドノズル面の 清掃
作業の合間			
ヘッドノズル面	11 毎日 (1~2回)	メンテナンス液11でヘッドノズル面を清掃	
印刷作業後			
ヘッドノズル面	11	メンテナンス液11でヘッドノズル面を清掃	 ヘッド底面の清掃
ヘッド底面 キャップ ワイパー	15	メンテナンス液15でヘッド底面、キャップ、 ワイパーを清掃	 キャッピング ステーションの清掃
ミストフィルター		ミストフィルターとフィルターケースを清掃 (またはフィルターの交換)	
テーブル		布で汚れやインク付着物等を清掃	
定期的なお手入れ (印刷作業後)			
PR-200 ヘッドのノズル洗浄 (PR-200搭載時)	13 週に2回 (2~3日毎)	PR-200 メンテナンス液でノズル洗浄を実施	 ミストフィルターの 清掃
LEDランプのガラス清掃		アルコールで汚れやインク付着物等を清掃	
ワイパーチューブ	15	メンテナンス>ステーションメンテナンス>キャリッ ジアウト	
インク排出経路の洗浄	15	メンテナンス>ステーションメンテナンス>排路洗浄	
廃インクタンク		メンテナンス>ステーションメンテナンス> 廃インクタンク ※廃液量をカウントし60%でワーニング表示されます	 不凍液混合水の 補充
吸引ワイパーの廃インクタンク		メンテナンス>ステーションメンテナンス> 吸引ワイパー廃インクタンク交換	
不凍液	月に1回	メンテナンス>水充填 温水不足エラー発生時	

11	 メンテナンス液11 (ML011-Z-K2/ML011-Z-B2) ヘッドノズル面用 - ヘッドノズル面の清掃 適用可能インク種: LH-100 LUS-120 ELH-100 ELS-120	
13	 PR-200 メンテナンス液 (ML013-Z-K2/ML013-Z-B2) PR-200 ヘッドのノズル洗浄用 - PR-200 ヘッドのノズル洗浄時に使用 適用可能インク種: PR-200	
15	 メンテナンス液 15 (ML015-Z-K2/ML015-Z-B1) 日常メンテナンス用 - ワイパー清掃 - キャップ清掃 - ヘッド周辺の清掃 - PR-200 ヘッド以外のノズル洗浄時に使用 適用可能インク種: LH-100 LUS-120 LUS-150 PR-200 ELH-100 ELS-120	
16	 メンテナンス液 16 (ML016-Z-K2/ML016-Z-B2) 強力ノズル洗浄用 - ノズル抜け/飛行曲がり発生時のノズル洗浄時に使用 使用時は注意 (詳細は裏面を確認してください) 適用可能インク種: LH-100 LUS-120 LUS-150 PR-200 ELH-100 ELS-120	
詳細はこちらから →		 メンテナンス液の 選び方

メンテナンス項目			
項目	頻度	メモ	動画
印刷作業前			
テストプリント		ヘッドギャップ 1.5 mm でテストプリントを確認	
ホワイトインクボトルの攪拌 (ホワイトインク搭載時)	毎日	メンテナンスクロスでキャップを抑え20回以上 ゆっくりと振る	 ヘッドノズル面の 清掃
作業の合間			
ヘッドノズル面	11 毎日 (1~2回)	メンテナンス液11でヘッドノズル面を清掃	
印刷作業後			
ヘッドノズル面	11	メンテナンス液11でヘッドノズル面を清掃	 ヘッド底面の清掃
ヘッド底面 キャップ ワイパー	15	メンテナンス液15でヘッド底面、キャップ、 ワイパーを清掃	 キャッピング ステーションの清掃
ミストフィルター		ミストフィルターとフィルターケースを清掃 (またはフィルターの交換)	
テーブル		布で汚れやインク付着物等を清掃	
定期的なお手入れ (印刷作業後)			
PR-200 ヘッドのノズル洗浄 (PR-200搭載時)	13 週に2回 (2~3日毎)	PR-200 メンテナンス液でノズル洗浄を実施	 ミストフィルターの 清掃
LEDランプのガラス清掃		アルコールで汚れやインク付着物等を清掃	
ワイパーチューブ	15	メンテナンス>ステーションメンテナンス>キャリッ ジアウト	
インク排出経路の洗浄	15	メンテナンス>ステーションメンテナンス>排路洗浄	
廃インクタンク		メンテナンス>ステーションメンテナンス> 廃インクタンク ※廃液量をカウントし60%でワーニング表示されます	 不凍液混合水の 補充
吸引ワイパーの廃インクタンク		メンテナンス>ステーションメンテナンス> 吸引ワイパー廃インクタンク交換	
不凍液	月に1回	メンテナンス>水充填 温水不足エラー発生時	



お問い合わせ先

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

<https://japan.mimaki.com/>

テクニカルコールセンター

 **0120-106-114**

お問い合わせ時間： 午前 9:00 より午後 5:00 まで

営 業 日： 月曜日から金曜日まで（祝祭日を除く）

「お手入れのお願い」の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

© 2016 MIMAKI ENGINEERING CO., LTD.

D203044-42-08082025

KM